



# 新明倫

鍛英親  
鍊知愛

高鍋西中学校  
学校だより  
平成30年1月11日

## 平成30年のスタート



穏やかに高鍋西中学校の平成30年が始まりました。今年「戌年」(いぬどし)、中学1年生(1~3月生まれ)と小学6年生(4~12月生まれ)が、今年の年男・年女にあたります。犬は社会性があり忠実な動物で、人との付き合いも古く(縄文時代から)、とても親しみの深い動物です。戌の干支(えと)の特徴として、「勤勉で努力家」とあります。今年も、各自が自分の目標に向い努力を重ねながら、一人一人にとって充実した年に、西中学校にとって「ワン」ダブル(wonderful)な1年にしていきたいと思います。

## 目標をもち 充実した3学期に

1月9日(火)の始業式では、各学年の代表生徒が3学期の抱負について、堂々と次のような発表をしてくれました。

守部 心々音 さん(1年3組)

- 「学年のリーダーとしての自覚をもつ」
- 「粘り強く、あきらめない心をもつ」
- 「1年生全体の良いところを伸ばす(増やす)」

松丸 颯太 くん(2年1組)

- 「部活動と勉強の両立をする」  
(中体連で結果を残す。入試の準備をしっかり。)
- 「合唱を頑張る」  
(先輩達のように。卒業式で先輩が感動できるように)

渡部 聖羅 さん(3年1組)

- 「受検に向けて努力する」  
(3年生全員が進路の希望を達成できるように)
- 「卒業式を感動的なものにする」  
(感謝の心を伝える)



## 「仕上げ」「繋ぎ」「自覚」

1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」とも言われるように、3学期はあっという間に過ぎていきます。また、各学年の「仕上げ」の学期であるとともに、次の学年や進路に向けての「繋ぎ」(つなぎ)の学期、準備の学期でもあります。

始業式では、3学期を充実させるために一人一人が「自覚」を大切にしてほしいと話しました。「自覚」は文字どおり、「自ら覚える」と書きます。辞書で調べると「自分の置かれている位置、役割、状態、能力などをはっきり知ること」とあります。また、「覚える」には「学んだり経験したりして身に付ける、修得する」とあります。

新年の「節目」に当たって、自分の目標を言葉にしたり、文字にしたりすることはとても意義のあることです。今の自分をしっかりと「自覚」しながら、それぞれが学年や置かれた立場に応じた目標を掲げ、日々の努力を大切にして、実りある3学期、そして平成30年の1年間にしたいものです。

## ロボコン全国大会へ

1月20・21日(土・日)に東京で開催される「第18回創造アイデアロボットコンテスト全国大会」に、県・九州代表として本校から3年生5名が出場します。

チーム名は「タカミクション」(高見大地 君、椎木孝成 君、中村陽杜 君、中村碧斗 君、千頭宗太郎 君。顧問：堀尾弘明 先生)。12月の九州大会(沖縄)で、5試合を勝ち抜いて堂々の初優勝に輝き、見事に全国大会の出場権を獲得しました。

先日、同チームの全国大会での健闘を祈って、本校の正門横に激励の横断幕を設置しました。ぜひ上位に進出して、高鍋町・高鍋西中学校の名前を広めてきてほしいと願います。地域のみなさまの応援をよろしくお願いいたします。

